

個別施設計画

策定年月 R2.1

施設名	倉敷中央高等学校		所在地	倉敷市西富井1384	
敷地面積	38,601.00 m ²		棟数	33 棟（計画記載対象 14 棟）	
延床面積	17,183.16 m ²			※対象は200㎡以上の建物（車庫、倉庫等）は500㎡以上 ※公舎・寮は全て対象	
設置目的	高等学校教育のため				
【想定される自然災害】					
予想震度 6弱		津波 —		浸水 —	
建築規制	市街化区域、第一種住居地域 建ぺい率60%、容積率200%				
エネルギー使用量 （2018年度）	電気 414,620 kwh	ガス 5,023 m ³	水道 7,755 m ³	燃料（灯油） 320 ℓ	
管理上の 特記事項	敷地内未利用地 なし 敷地内貸付地 なし 倉敷市指定緊急避難場所・指定避難所（洪水、土砂災害、高潮、地震、津波）				

1 施設内建物の概況

名 称	特別教室棟(96棟)30-1	特別教室及び普通教室棟(97棟)30-2	普通教室棟(104棟)30-3
築年(西暦)	1984 年	1985 年	1986 年
構 造	鉄筋コンクリート 造 4 階	鉄筋コンクリート 造 4 階	鉄筋コンクリート 造 4 階
建築面積	248.40 m ²	474.14 m ²	172.80 m ²
延床面積	993.60 m ²	1,910.96 m ²	691.20 m ²
主要な用途 (室名等)	食物教室 被服教室 美術教室	食物教室 被服教室 音楽教室	普通教室
主要な設備 (屋外を含む)		消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2 中性化 ※3		
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4 地盤沈下 ※5		
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	屋根 外壁	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強〜7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	普通教室棟(122棟)30-4	図書・普通・特別教室棟(111棟)28-1	体育館(115棟)32
築年(西暦)	1996 年	1988 年	1991 年
構 造	鉄筋コンクリート 造 4 階	鉄筋コンクリート 造 4 階	鉄骨 造 1 階
建築面積	121.01 m ²	369.07 m ²	1,492.82 m ²
延床面積	484.03 m ²	1,379.31 m ²	1,726.51 m ²
主要な用途 (室名等)	普通教室 多目的教室	職員室 普通教室 図書室	体育館
主要な設備 (屋外を含む)		消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備 昇降機(小荷物用)	消防設備(自動火災報知設備) 給排水設備 消火設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2 中性化 ※3		
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4 地盤沈下 ※5		
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	外壁	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適

※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適

※4 傾斜が有る場合は不適

※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	記念館(116棟)33	特別教室棟(123棟)34	武道場(127棟)35-2
築年(西暦)	1988 年	1996 年	1999 年
構 造	鉄筋コンクリート 造 2 階	鉄筋コンクリート 造 3 階	鉄骨 造 3 階
建築面積	358.99 m ²	780.42 m ²	11.47 m ²
延床面積	725.94 m ²	2,006.61 m ²	514.63 m ²
主要な用途 (室名等)	同窓会館	看護医学講義室 介護実習室	武道場
主要な設備 (屋外を含む)		電力設備(受変電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2 中性化 ※3		
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4 地盤沈下 ※5		
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 $\geq$ 0.6(震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	本館(90棟)28-1	特別教室棟(93棟)28-2	普通教室棟(95棟)28-3
築年(西暦)	1981 年	1982 年	1983 年
構 造	鉄筋コンクリート 造 4 階	鉄筋コンクリート 造 4 階	鉄筋コンクリート 造 4 階
建築面積	524.46 m ²	248.40 m ²	380.16 m ²
延床面積	1,913.70 m ²	1,006.20 m ²	1,527.84 m ²
主要な用途 (室名等)	化学教室 物理教室 情報教室	生物教室 理科教室 情報教室	校長室 会議室 普通教室
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 給排水設備 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	屋根 外壁	屋根 外壁	屋根 外壁

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	寄宿舎(66棟)15	寄宿舎(131棟)36	
築年(西暦)	1971 年	2016 年	
構 造	鉄骨 造 2 階	鉄骨鉄筋コンクリート 造 2 階	
建築面積	246.63 m ²	138.54 m ²	
延床面積	479.90 m ²	265.22 m ²	
主要な用途 (室名等)	寄宿舎	寄宿舎	
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備		
利用状況	中	中	
耐震性 ※1	有	有	
躯体(コンクリート) の健全性	※2 圧縮強度 ※3 中性化 ※4 建物傾斜 ※5 地盤沈下	適	
※耐震診断済のみ	適	適	
長期使用の 適否	適	適	
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

老朽化の進んだ建物について修繕、改修を行い、使用を継続する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
特別教室棟(96棟)30-1	予防保全を図る。
特別教室及び普通教室棟(97棟)30-2	設備等の定期更新を行う。
普通教室棟(104棟)30-3	予防保全を図る。
普通教室棟(122棟)30-4	予防保全を図る。
図書・普通・特別教室棟(111棟)28-1	予防保全を図る。
体育館(115棟)32	予防保全を図る。
記念館(116棟)33	予防保全を図る。
特別教室棟(123棟)34	設備等の定期更新を行う。更新に当たっては、ユニバーサルデザイン化にも配慮する。
武道場(127棟)35-2	予防保全を図る。
本館(90棟)28-1	長寿命化改修を行う。
特別教室棟(93棟)28-2	・長寿命化改修を行う。 ・設備等の定期更新を行う。
普通教室棟(95棟)28-3	長寿命化改修を行う。
寄宿舍(66棟)15	予防保全を図る。
寄宿舍(131棟)36	予防保全を図る。

3. 施設全体のスケジュール
(概 要)

1 設備等更新
劣化状況を確認しながら順次更新を行う。
2 長寿命化改修
屋上防水等を行うほか、内部・外部の改修を行う。
(90棟、93棟、95棟)2024年度以降設計・施工

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
特別教室棟(96棟)30-1	予防保全			予防保全を図る。							
特別教室及び普通教室棟(97棟)30-2	設備等の定期更新								トイレ 洋式化		
普通教室棟(104棟)30-3	予防保全			予防保全を図る。							
普通教室棟(122棟)30-4	予防保全			予防保全を図る。							
図書・普通・特別教室棟(111棟)28-1	予防保全			予防保全を図る。							
体育館(115棟)32	予防保全			予防保全を図る。							
記念館(116棟)33	予防保全			予防保全を図る。							
特別教室棟(123棟)34	設備等の定期更新					トイレ 洋式化					
武道場(127棟)35-2	予防保全			予防保全を図る。							
本館(90棟)28-1	長寿命化改修								設計・施工 7		
特別教室棟(93棟)28-2	長寿命化改修								設計・施工 90棟に含		
	設備等の定期更新								屋上防水 設計・施工		
普通教室棟(95棟)28-3	長寿命化改修								設計・施工 90棟に含		
寄宿舎(66棟)15	予防保全			予防保全を図る。							
寄宿舎(131棟)36	予防保全			予防保全を図る。							

4. 概算費用

総額 8億円(長寿命化改修等)

5. 変更履歴

変更年月	変更内容
R3.11	特別教室棟(123棟)において、設備等の定期更新を追加
R6.12	特別教室棟(93棟)28-2において、設備等の定期更新を追加
R7.3	特別教室及び普通教室棟(97棟)30-2及び特別教室棟(93棟)28-2において、設備等の定期更新を追加